患者さまへのお知らせ・お願い

□ロビーコンサートのお知らせ

◆　８月１２日（水）　久保田　千裕さん　ピアノ演奏会）
◆　　２８日（金）　池内　光子さん（アコーディオン演奏会）

中央棟１階会計前ロビーにて、１９：００より開催いたします。３０分間の演奏会です。是非、お越しください。
コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。
曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

□採血室受付番号券運用開始のお知らせ

採血室をご利用の皆さまへ　混雑によりご迷惑をおかけしております。
４月末より、受付番号券を発券して採血の順番待ち人数を分かりやすくすること、および患者さまの呼び出しに番号を利用することを始めました。
流れをご紹介いたします。

【①受付】
窓口へ診察券と外来受付票または外来基本カードをご提示ください。
受付番号券をお渡しいたします。

【②入室】
採血室内へ案内する順番になりましたら、受付窓口周辺の番号表示機にチャイム音と同時に番号を表示いたします。ご自分の番号またはその後の番号が表示されましたら、採血室にお入りください。
受付番号券を係員にご提示ください。入室後は従来どおりです。

【注意事項】
「尿検査のみ」などの採血室に入る必要のない患者さまには、係員が窓口より番号でお呼びします。
注射、点滴そのほかの処置の患者さまは従来どおり、処置室入口より医師または看護師がお名前でお呼びします。
検査の種類などにより順番どおりお呼び出来ない場合は、事前に個別に説明いたします。
不明な点がございましたら係員までお尋ねください。

□病院ホームページ　リニューアルのお知らせ

この度、2009 年 7 月、北部病院ホームページをリニューアルいたしました。
今までは病院スタッフにて管理、更新作業を行っておりましたが、「病院ホームページ更新プロジェクト」を立ち上げ、ホームページ作成業者を選定し、プロの手によるリニューアル(作成)を進めてきました。
ホームページを訪れた方が見やすく迷うことなく、必要な当院の情報を得ることが出来るホームページを目指して作成してきました。今までの掲載していた内容もそのまま素材として使用するのではなく、細部までの見直しを行いました。
これからも、定期的な内容の見直しと、もっと、閲覧に来られた方に伝えたい内容・新しい内容を追加していこうと考えております。
一度、ご訪問してみてください。
http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

◆入院されている患者さまへ　不在者投票ができます。

当院は不在者投票指定病院となっております。来る８月３０日(日)に執行される、第 45 回衆議院議員選挙・第 21 回最高裁判所裁判官国民審査および横浜市市長選挙(横浜市在住者のみ)の不在者投票ができます。
不在者投票を希望される方は、ナースステーションまでお声かけください。なお、投票用紙は郵送による取り寄せとなりますので、希望申請に締切日を設けさせていただきます。ご了承ください。
投票希望締切日：８月２１日（金）午後５時
不在者投票実施日：　８月２６日(水)・２７日(木)　開始時間に館内放送にてご案内します。

編集後記

梅雨明けと思ったら、暦の上ではもう立秋。異常気象のせいか灼熱の太陽や青空も少なく、今年の夏はイマイチ「夏」を感じないまま終わりそうです。せめて子供を連れて海やプールへ行こうか、でも水着になるとお腹回りの“浮き輪”が気になる、という私のようなメタボお父さんに朗報。男性用“メタボ対策”上半身水着が売れ行き好調。遊泳用にゆったりしたデザインで見た目はＴシャツと同じのため、絶好の「メタボ隠し」になる。また近年、紫外線による肌への悪影響も広く知られ、性別を問わず「露出は禁物」が当たり前になりつつあるようです。
お腹を隠せる上に紫外線対策にもなるスグレモノ。でもやっぱりメタボ対策のためには普段から運動し、堂々と見せられる体に鍛えることが大事ですね・・・。　　広報委員会　委員　小川　孝行

北部病院だより　第５６号
平成２１年８月５日発行
発行責任者　田口　進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者　島田　誠(広報委員会　委員長)
発行　昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503　横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL：http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより　第56号

第 56 号【2009/08/05　発行】
発行者：昭和大学横浜市北部病院

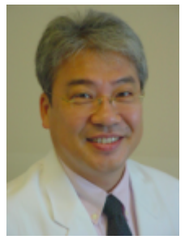
●巻頭言
『　平　均　寿　命　』
消化器ｾﾝﾀｰ　准教授　遠藤　俊吾

●イベント情報
発熱外来シミュレーション

●医師の配属・異動・退職
●診療統計
●外来担当表
●患者さまへのお知らせ・お願い
ロビーコンサート
採血室受付番号券運用開始のお知らせ
病院ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　ﾘﾆｭｰｱﾙのお知らせ

もう少し日光浴をしたい夏ですね。

巻頭言　『　平　均　寿　命　』



消化器ｾﾝﾀｰ
准教授
遠藤　俊吾

体の頑丈さを自負していたのに、50 歳を目前にした途端、夜遅くまで手術した翌日の疲れがきついこと、その疲れがなかなか取れないことを自覚させられることが増えました。自分が病気になることも近未来の予想図の中にリアルに想像できるようになっています。「熟年」に達したと実感させられるのは、「病」を想像しながら生きることだと感じています。
そんな中、消化器外科学会への参加のために出かけた大阪のまとわりつくような暑さの中で見かけた新聞に、「厚生労働省は 16 日、08 年の日本人の平均寿命を公表した。男性は 79.29 歳(前年 79.19 歳)、女性 86.05 歳(同 85.99 歳)と男女ともに延び、3 年連続で過去最高を更新した。」という記事を読みました。女性は 24 年連続世界一で、男性は、アイスランド、スイス、香港に次いで世界 4 位だそうです。また、その記事の中では、「がん」、「心疾患」、「脳血管障害」の 3 大疾患の治療が進歩したことが寿命の順調な延びにつながった、との分析がなされていました。
「がん」の治療、それも「大腸がん」の手術ばかり(手術だけ)している超専門的(？)外科医が、なぜかこの記事に興味を持ってしまいました。私の専門からみますと、大腸がんの手術成績は向上しましたが、それ以上に抗癌剤治療の進歩がめざましく、手術ができない、以前は手遅れとされた進行・再発大腸がんでも抗癌剤治療により寿命が延びています。さらには手術ができないとされた「がん」でもまず抗癌剤や放射線治療で「がん」を小さくしてから手術をするなどの工夫で「がん」の治療を行って治療成績を向上させています。
おっと、自分の専門分野の宣伝になってしまいました。「平均寿命」に話を戻しましょう。調べてみますと、厚生労働省「平成 17 年市区町村別年令表」では、男性の平均寿命は、第 1 位：横浜市青葉区、第 2 位：川崎市麻生区、第 3 位：三鷹市、第 4 位：国分寺市、第 5 位：練馬区…。沖縄や長野じゃないんだ…。あった、都筑区、第 15 位。女性は、1 位から順に北中城村（沖縄）、猪名川村（兵庫）、高森町（長野）、豊見城市（沖縄）、南城市（沖縄）。男と随分違うと思って見ていたら、ありました、第 7 位：横浜市青葉区…。
男性と女性のあまりの違いに驚きました。歌に唄われたように「暗くて深い溝」があるのか、男は都会に生き、女は自然に生きるのが良いのか。先ほどの新聞の分析からみると、地方の医療崩壊が叫ばれている現状では、都市部の男性だけが「3 大疾患の治療の進歩」の恩恵をより多く受けたようにもみえます。待てよ…、男の長寿は人口密集地の近郊が多い、最近ここセンター南でも増えた老人介護施設に関係があるかも･･･。しかし、「老人」や「介護施設」という呼び名ではダメです。いまは介護付きマンション、あるいは介護付き高齢者賃貸住宅と呼ぶのです。インターネットで調べるとありました、介護付きマンションなどの所在を示す地図が。その存在を示す●が男性長寿地域に多い。不動産会社も「税金対策に」などと電話で売り込んでいないで、これからは高級高齢者マンションでしょう！
女性はどうなんだろうと考えました。一人暮らしのおばあさんは多いが（私の母親もこのグループ）、一人暮らしのおじいさんはあまり会ったことがない。おばあさんは一人でも故郷に残り、おじいさんは一人では暮らせないので介護施設のある子供たちの住む近郊に移住するのか。介護施設の男女比は 1：1.2～1.5 程度だそうです。80 歳以上の人口は、男性 199 万人、女性 430 万人（総務省ホームページより）で女性が男性の 2 倍以上ですから、介護施設に入らない女性がかなり多いことになります。女性の生活力の強さを実感できる統計です。また、こうしてみると全国第 2 位の都市・横浜市の人口が 365 万人ですから、80 歳以上の人口の多さがわかります。高齢者の医療費が問題になるわけです。都筑区は人口が増加している横浜市の中でも自然増加率は第 1 位、社会増加率は戸塚区に次いで第 2 位だそうです（「横浜の人口」2007 より）。子供が多い若い街ですが、高齢者も多い長寿の街でもあることを認識しました。

北部イベント

新型インフルエンザ対策　～発熱外来シミュレーション～

4月以降、世界的な広がりをみせた新型インフルエンザ。日本国内においては、当初海外渡航後の発症者のみでありましたが、感染は拡大し人から人への感染が確認され、ついには横浜市内においても発症者が報告されました。その後も威力は止まらず、この都筑区内でも複数の方から発症の報告がされました。

この中で、横浜市は5月16日、市内1人目の発症者確認後、市内全域の中核病院に対し「発熱外来」設置指示を通知しました。これを受け、当院では西棟の公開空地(屋外)に発熱外来専用のテントを設置しました。結果としましては、幸いにも当院に来院されたインフルエンザを疑われた患者さまは全例が弱毒性であったため、一度も屋外テントで診察することはなく、屋内診察室での対応で終了しました。皆さまには、院内でのマスクの着用や手指消毒励行にご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。その後行政より、7月17日以降は、季節性インフルエンザと同等の診療に移行するとし、発熱外来終了の通知が出されました。

発熱外来専用テント

この通知を受け、テントを撤去することとなりましたが、当院では、今秋以降新型インフルエンザが強毒性に変異し、改めて屋外での診療が必要となること想定して、撤去前にテントでの診察シミュレーションを行いました。

シミュレーションは、患者さまの来院方法を車と徒歩の2パターンに分け、防護服を着用し診察・検査など一連の流れを確認するもので、模擬患者を設定し現実さながらに行いました。

しかし事前準備や机上でイメージすることと実際は異なります。入念に打合せを行っていても、「流れ」に無駄な時間がある、機器が正常に動かない等、様々な問題を認識できました。

今回の訓練は、医師・看護師・検査技師・事務など各職種が参加し、終了後には、それぞれの視点で意見や反省点を積極的に出しあい、非常に実りのあるものになりました。

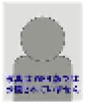
診察シミュレーション

当院では皆さまが安心して診察を受けていただけるよう、繰り返しこのような訓練を行い、今秋以降の新型インフルエンザの脅威に備えて参ります。感染拡大防止対策等、皆さまにお願いすることもあるかと思いますが、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師　【～8/1】

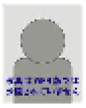
【他病院より】



堀本　哲宏　(消化器C)
平成9年
和歌山県立医科大学卒

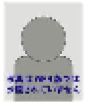
松岡　彰　(整形外科)
平成17年
聖マリアンナ医科大学卒

【附属病院より】



岡松　伸明　(整形外科)
昭和大学医学部
整形外科学教室より

片桐　聡　(整形外科)
昭和大学医学部
整形外科学教室より



中村　裕紀　(内　科)
昭和大学医学部
内科学教室(腎臓)より

【配置転換】

□**伊藤　寛晃**　(救急C　⇒　消化器C)
□**渋谷　泰弘**　(呼吸器C　⇒　救急C)　　□**石井　源**　(救急C　⇒　呼吸器C)

異動・退職医師　【～8/1】

【長期出張】

□森　悠一　(消化器C)　□及川　裕将 (消化器C)　□小形　典之 (消化器C)　□大本　智勝 (消化器C)
□竹原　雄介 (消化器C)　□和田　祥城 (消化器C)　□片桐　聡　(整形外科)

【退　職】

□野村　智史 (消化器C)　　□橋本　雅彦 (消化器C)

診療統計

2009年5･6月統計データ( )内は1日平均

診療実日数　入院･･･31日(5月)･30日(6月)　　外来･･･23日(月)･26日(6月)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
5月	30,445人(1,323.7人)	16,207人(522.8人)	248件(8.3件)	552件(30.7件)
6月	30,502人(1,327.0人)	16,229人(543.3人)	201件(6.7件)	600件(27.3件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。
平成21年8月1日改定

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初診)		中島宏昭(紹介初診)		神尾義人(初診)	鹿間裕介(再診)	笠原慶太(初診)		北見・澁谷(初診)		医局員(初診)
	笠原慶太(初)	笠原慶太(再)	井上七重(初)	中島宏昭(再)	鹿間裕介(初)	北見明彦(再)	鹿間裕介(再)	神尾義人(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)	
	北見明彦(再)		鹿間裕介(再)	澁谷泰弘(再)				井上七重(再)	笠原慶太(再)		
									鹿間裕介(再)		
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一		池田晴夫	池田晴夫	里舘　均	里舘　均	大塚和朗	大塚和朗	医局員
	林　武雅(予)	草野智一(限)	井上晴洋	井上晴洋	和田祥城	和田祥城	医局員			春日井尚	
		出口義雄	樫田博史	樫田博史	医局員	遠藤俊吾	池原伸直	池原伸直	医局員		
	細谷寿久			南ひとみ(限)	日高英二	日高英二			宮地英行	宮地英行	
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英		石田文生	堀越邦康(限)	樫田博史	山村冬彦	遠藤俊吾		
				橋本雅彦(予)	岩下方彰(2)			工藤進英(特診)			
循環器センター	磯村直栄		落合正彦		小原千明		荒木　浩		芦田和博		医局員
	星本剛一		山本明和		薬師寺忠幸		藤倉寿則	御子柴幸(2)	斉藤重男		
	伊藤篤志 (心臓血管外科)	黒子洋介 (血管外科)	上村　茂 (先天性心疾患)		伊藤篤志 (心臓血管外科)		富田　英 (先天性心疾患)		石野幸三 (心臓外科)		伊藤篤志 (心臓血管外科)
	富田　英 (先天性心疾患)		山下賢之介	富田　英 (先天性心疾患)				山邊陽子 (先天性心疾患)	上村　茂 (先天性心疾患)		
メンタルケア(初)	堀　宏治 (精神全般 認知症)	堀　宏治 (物忘れ初診)	板垣太郎 富岡　大	板垣太郎 富岡　大	工藤行夫 (精神全般 統合失調症)	工藤行夫 (精神全般 統合失調症)	西岡玄太郎	西岡玄太郎	吉益晴夫	吉益晴夫	伊川太郎
メンタルケア(再)		富岡　大			堀　宏治	堀　宏治	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫		菊地　優
メンタルケア(再)	板垣太郎	板垣太郎	青木麻梨		西岡玄太郎	西岡玄太郎	伊川太郎	伊川太郎	田村利之		
メンタルケア(再)		青木麻梨	医局員		富岡　大		菊地　優				
内　科(22-5)		高橋　健 (内科腎臓)									
内　科(23-2)	吉田典世 (内科)	山本真寛 (内科)		土屋静馬 (内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	土屋静馬 (内科)	武重由衣 (内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)		菊嶋修示 (循環器不整脈)
内　科(23-3)	衣笠えり子 (内科腎臓)	福井俊哉 (記憶認知)		戸嶋洋和 (内科)	衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	中村裕紀 (内科神経)	川崎仁志 (内科神経)	医局員
内　科(23-5)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	吉田典世 (内科)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	医局員	三代川章雄 (内科消化器)
内　科(25-1)	井上　学 (内科神経)		小林功治 (内科)		井上　学 (内科神経)		和田幸寛 (内科)	滝西安隆 (内科)	滝西安隆 (内科)		大野恭史 (内科)
内　科(25-2)		井上　穣 (内分泌・代謝)		竹島亜希子 (内科)	木村　聡 (内科・感染症)				小林功治 (内科)		医局員
内　科(25-3)	田口　進 (内科消化器)	成島道昭 (内科)	和田幸寛 (内科)	中山文義(腎) (第1火休診)			田口　進 (内科消化器)				渡邉浩之(1,3 (内科)
内　科(25-5)	荏原　徹 (糖尿病,内分泌)		嶋田　顕 (内科腫瘍)	嶋田　顕 (内科腫瘍)	荏原　徹 (糖尿病,内分泌)		嶋田　顕 (内科腫瘍)	嶋田　顕 (内科腫瘍)	荏原　徹 (糖尿病,内分泌)		荏原　徹 (糖尿病,内分泌)
内　科(25-6)		伊東友弘 (内科腫瘍)		大野恭史 (内科)	女性専門外来 (予約のみ)		緒方浩顕 (内科腎臓)	成島道昭 (内科)	伊東友弘 (第4休診) (内科腫瘍)		緒方浩顕 (内科腎臓)
内　科(25-7)	宮下耕一郎 (内科)	宮下耕一郎 (内科)	辻　正富 (糖尿病,内分泌)	辻　正富 (糖尿病,内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)	伊東友弘 (内科腫瘍)	辻　正富 (糖尿病,内分泌)	辻　正富 (糖尿病,内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻　正富 (糖尿病,内分泌)
小　児　科	梅田　陽	神経外来	梅田　陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	梅田　陽	成育外来	梅田　陽	乳児検診	医局員
小　児　科	曽我/富永	予防接種	曽我恭司	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ外来	梅田　陽	腎臓外来 (1,3,4)	曽我恭司	ｱﾚﾙｷﾞｰ外来	松岡　孝	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ外来	澤田まどか
小　児　科	北澤重孝		北澤重孝	血液内科(4) 心理相談	富永牧子	心理相談	井上真理	口腔発達(2,4)	藤巻孝一郎	上村茂(心臓)	西岡貴弘
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味　明	心理相談	大橋祐介		杉山彰英	杉山彰英(奇) 医局員(偶)
皮膚科 (初16-3)	保坂浩臣		宋　寅傑		三井湖麻江		保坂浩臣		宋　寅傑		医局員
皮膚科 (再16-1)	宋　寅傑		上岡なぎさ								
皮膚科 (再16-2①)	上岡なぎさ	外科手術	三井湖麻江	外来手術	医局員	外科手術	医局員	外来手術	上岡なぎさ	外来手術	医局員
皮膚科 (再16-2②)			保坂浩臣		上岡なぎさ		三井湖麻江		保坂浩臣		
外　科	椛澤/中村 (第3以外)	中村明央	椛澤由博	杉本啓一(3)	新井一成		新井一成	井関雅一(偶) 岩波正英(3)	中村明央	岩波正英 (第2,4)	中村明央(奇) 新井一成(偶)
外　科	椛澤由博(3)		福成信博		山崎智巳		椛澤由博	兼坂　茂 (予約のみ)	福成信博 (1.2.3.5)	中村明央	椛澤由博(奇) 山崎智巳(偶)
外　科	福成信博 (1,2,4初)								椛澤由博		
形成外科	大塚尚治	ﾋﾟｰﾘﾝｸﾞ	【手術日】		小原英里		手術日		大塚尚治 信太　薫		信太(1.5)大塚(3) 小原(2.4)
緩和ケア(麻酔科) (22-6)		岡本健一郎 (事前予約制)				岡本健一郎 (事前予約制)				岡本健一郎 (事前予約制)	
脳神経外科 (初再診)	藤島裕丈	小林信介	池田尚人 (予約のみ)	【手術日】	松本浩明		河面倫有		河面倫有	藤島裕丈	医局員
脳神経外科	池田尚人	池田 (診断書外来)	紹介状のみ(初)	【手術日】	池田尚人	池田尚人	松本浩明	松本浩明	池田尚人	医局員	医局員
整形外科	医局員	逸見範幸	西山嘉信(予)	川崎恵吉		中村正則	松岡　彰	三雲　仁		尾又弘晃	医局員
整形外科		装具診 予約のみ	三雲　仁		逸見範幸	装具診 予約のみ	三雲　仁	古梶(2.4)	逸見範幸	骨粗鬆症外来 (2.4)	医局員
整形外科	山口正哉		山口正哉		中村正則		稲垣克記		尾又弘晃		
整形外科	川崎恵吉		大下優介		岡松伸明		川崎恵吉		大下優介		
産婦人科 初診(12-7)	佐々木康(奇) 八鍬恭子(偶)		高橋　諄		高橋　諄		小塚(偶) 八鍬･吉江(奇)		小川公一		医局員
産婦人科 産科Ⅰ(12-1)	宮上　哲		小川公一		栗城亜具里		佐々木康		吉江正紀		
産婦人科 産科Ⅱ(12-6)					八鍬恭子		安藤直子			特殊診 予約のみ	
産婦人科 婦人科Ⅰ(12-8)	小川公一		佐々木康	特殊診 予約のみ	吉江正紀		高橋　諄		安藤直子	特殊診 予約のみ	医局員
産婦人科 婦人科Ⅱ(12-6)	栗城亜具里		八鍬恭子						宮上　哲		
泌尿器科 (初診11-1)	椎木一彦	椎木(検査) 予約のみ	永田将一	丸山邦隆 (予約のみ)	奥村太輔		井上克己	小川雄一郎 予約のみ	島田　誠		医局員 (初再診)
泌尿器科 (再診11-3)	島田　誠	島田(女性外来 予約のみ	奥村太輔 予約のみ		永田将一	永田(検査) 予約のみ	椎木一彦	菅原(検査) 予約のみ	井上克己	井上(検査) 予約のみ	
泌尿器科 (検査11-5)		女性外来 (第2)	術後1ヶ月診								
眼　科	岡本幸子	特殊診(岡本	小池正直	特殊診(岡本	後藤洋平		小池正直	特殊診(小池	後藤洋平		小池正直(奇) 南　雅之(偶)
眼　科	南　雅之		南　雅之	特殊診(南	岡本幸子		後藤洋平	特殊診(後藤	南　雅之	特殊診(南	岡本幸子(奇) 嶋田摂也(奇)
眼　科	嶋田摂也	特殊診(嶋田	岡本幸子	特殊診(遠藤			嶋田摂也	特殊診(嶋田	嶋田摂也		後藤洋平尾偶)
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸 (初診)	腫瘍甲状腺外来 予約のみ	医局員 (初診)		医局員 (初診)		篠　美紀 (初診)	櫛橋幸民(再)	医局員 (初診)		医局員 (初診)
耳鼻咽喉科13-2	山田良宣(再)		高橋　郷(再)				門倉義幸(再)	門倉義幸(再) 2.4予約のみ			
耳鼻咽喉科13-3①	篠美紀(再)						鈴木美雪(再)				
耳鼻咽喉科 13-3②						補聴器外来K 予約のみ		補聴器外来N 予約のみ			

○放射線治療の外来日は、月火木金：鹿澤恵二医師です。　○リハビリ科外来日は、火曜日午後：真野英寿医師です。　※奇＝奇数週　偶＝偶数週　数字＝診察日第□週　限＝限定